

桐生西ロータリークラブ週報

2008-09年度RIテーマ

李東建 (Dong Kurn Lee) RI会長 夢をかたちに



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 田崎 武夫 クラブ会報・雑誌委員長 片貝 良一
 幹事 栗原 幸三 委員 星野 幸男

No. 1699

2008年10月24日発行

第1802例会 (2008・10・17) 報告

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 食 事 |
| 2. 四つのテストソング | 7. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 施設優良職員表彰 |
| 4. 会長報告 | 9. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 10. ロータリーソング |

◆ピジター

社会福祉法人希望の家 希望の家療育病院	花田 泰子様
〃	園田 耕司様
社会福祉法人桐生市社会福祉協議会 桐生みやま園	吉田由貴子様
社会福祉法人広済会 つつじヶ丘学園はなぞの寮	森下眞由美様
社会福祉法人三和会 エルシーヌ藤ヶ丘	野村 容子様
〃	瀬谷 祐美様
社会福祉法人桐の実会 わたらせ養護園	河田 楨子様
桐生タイムス社	中澤 時雄様
上毛新聞社	奥木 秀幸様

◆会長報告

田崎会長

- 10月14日15日と友好クラブの栃尾RCさんを11名で訪問して参りました。14日は会員さんの料亭『恵比仁』さんでの夜間例会に出席しました。栃尾RCさんは会員数21名のところ16～17名は出席されていたと思います。大歓迎を受けて参りました。翌日はゴルフ組と観光組に分かれ、私はゴルフの方に参加しましたのでゴルフの報告を致します。団体戦は当クラブの圧勝でした。優勝カップは栃尾RCさんが提供して下さい、今後持ち回りにしようという事になりました。また締結時会長だった根本会員が当時の写真お持ちになり非常に懐かしくご覧頂いた事や、退会された会員さんを根本さんが復帰させるという喜ばしいハプニングもありました。是非また桐生にお越しになりたいそうですので、大歓迎をして頂いたお返しが出来ようご協力をお願い致します。
- 次週24日(金)は桐生5RC合同チャリティゴルフコンペと合同夜間例会です。当クラブからはゴルフに12名、夜間例会に30名出席されることになっております。また、翌日25日(土)は家族会による食事がございます。まだ参加申込を受け付けておりますので、宜しくお願い致します。

◆幹事報告

栗原幹事

- ◇次週は桐生5RC合同夜間例会に例会変更です。
- ◇桐生5RC合同ゴルフコンペと夜間例会の会費を集めております。また31日の例会で地区大会登録料を集合させて頂きますので、宜しくお願い致します。
- ◇大間々地域芸術文化祭のご案内が届いております。
- ◇例会変更のお知らせ
桐生赤城RC 11/11 太田南RC 11/4,11/25
- ◇クラブ会報が到着しています
桐生南RC 10/8 桐生赤城RC 9/27

◆食事メニュー

1091キロカロリー

豚肉と茄子の炒め物、湯豆腐の薬味添え、白飯、
棒々鶏のサラダ、野菜スープ、本日のデザート

◆委員会報告

□出席委員会

稲森委員長

総数52名(免除者8名の内2名出席の為6名を除く)
 出席率対象者46名、出席率対象者出席人数31名
 欠席者15名(内前メイク4名) 出席率76.08%
 前々例会修正出席率88.00% (最終欠席者6名)

□ニコニコBOX委員会

近藤委員

施設優良職員表彰の皆様おめでとうございます。これからも福祉の向上の為に頑張ってください

栗原君、乾君、奥村君、金子君、前原君
 前原委員長及び委員の皆さんに感謝します 稲森君
 栃尾訪問無事終わりました。家住さんご苦勞様でした
 田崎君
 栃尾RC訪問無事終了する事が出来ました。参加された方々に感謝します 家住君

□ロータリー財団委員会

松原委員

本日表彰される各施設の皆さんおめでとうございます
 稲森君、奥村君
 家住、栗原、阿左美さん運転ご苦勞様でした 田崎君

栃尾訪問お疲れ様でした 栗原君

□米山奨学委員会 霜村委員
施設優良職員表彰の皆様おめでとうございます。今後も頑張ってください 田崎君、奥村君、稲森君
家住国際奉仕委員長大変御世話になりました 根本君
会長準優勝おめでとうございます 栗原君
友好クラブ栃尾RC訪問しました。親善大使根本さん御世話になりました 江原君

□国際奉仕委員会 家住委員長
栃尾訪問の報告をさせていただきます。14日は1時半に桐生を発ち、宿泊先のホテルに着いたのが5時少し前でした。栃尾RCの佐藤幹事さんがタクシー会社を運営されていて、5時半にマイクロバスで迎えに

来て下り、6時から『恵比仁』さんで例会を行いました。そこで田崎会長が挨拶をされ、引き続き懇親会に移り、乾杯は締結時の会長の根本さんがなされ、長岡の芸者さんが3人入って踊りを堪能させていただきました。9時半位まで沢山ご馳走になり、その後も会員さんが経営するスナックで二次会を行いました。次の日はゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフの方は会長報告の通りです。観光には歴史的造詣が大変深い教育カウンセラーをされている大野さんが色々案内して下さい、山古志村にも連れて行って頂きました。観光組は夕方には桐生に着き、ゴルフ組も7時半頃には帰って来たそうです。また桜の咲く頃栃尾の皆様が桐生にお見えになりたいということでした。

施設優良職員表彰



職業奉仕委員会による施設優良職員表彰は、小倉実会長(1986-87)年度の時、金子福松職業奉仕委員長が始められ、今年で22回目になります。当クラブの代表的な伝統行事と言っても過言ではありません。

例会開始時にご唱和頂きました『四つのテスト』を日頃実践されている福祉施設の皆様に、本日はお集まり頂きました。日夜大変な業務に就かれている皆様方の労をねぎらい、少しでも明日からのお仕事の励みにして頂きたいと思い、ご招待致しました。

受賞者の皆様

社会福祉法人希望の家	希望の家療育病院	花田 泰子様
"	"	園田 耕司様
社会福祉法人桐生市社会福祉協議会	桐生みやま園	吉田由貴子様
"	"	岩木 由江様
社会福祉法人広済会	つづじヶ丘学園はなぞの寮	森下眞由美様
"	さつき寮	蕪木たか子様
社会福祉法人三和会	エルシーヌ藤ヶ丘	野村 容子様
"	"	瀬谷 祐美様
社会福祉法人桐の実会	わたらせ養護園	河田 慎子様



体験談

社会福祉法人 希望の家
希望の家療育病院 勤務
園田 耕司 様

社会福祉法人希望の家希望の家療育病院に勤務している園田と申します。この度は、桐生西ロータリークラブ様の盛大な会にお招きをいただき、そして施設優良職員表彰をいただき、誠にありがとうございます。

希望の家療育病院は、ご存じかと思いますが、現在、120名の重症心身障害児が入所している施設です。私の仕事は入所者の生活のお世話です。

希望の家療育病院に就職をして、はや20年になります。就職当時、今は亡き祖父母も健在で、元気しておりました。その祖父母の影響で、漠然と福祉の道を志した私は、高校卒業と同時に就職いたしました。

思えば、なんの知識もない私にとって最初は戸惑う

ことばかりで、毎日の仕事をこなしていく事に精一杯でした。困ったり悩んだりした時は、諸先輩方のアドバイスと入所者の皆さんの笑顔に、いつも助けられました。振り返ってみると、恥ずかしい事ばかりでした。それも今となっては懐かしい思い出となっています。

希望の家療育病院にはたくさんの行事があります。春秋の遠足、夏祭り、運動会、クリスマス会、誕生会、茶話会など、入所者が主役の行事です。入所者の皆さんが楽しむのはもちろんですが、一緒に参加することで、自分自身とても楽しい気持ちになれ、それが不思議です。

春秋の遠足は、おもに群馬フラワーパークや華蔵寺公園遊園地へ行きます。保護者も参加するので、入所者の皆さんはとても楽しそうです。夏祭りや運動会では、テント張りなどの会場設営などが私の役割となっています。希望の家療育病院に就職して、初めてテント張りを行った事を今でも思い出します。本番になると夏祭りも運動会も盛大で、入所者、保護者、職員と一緒に踊ったり競技をしたりします。クリスマス会では、職員による歌やオリジナルの劇を行ったり

しています。それぞれの行事が、私にとって楽しく懐かしい思い出です。

私が勤務している病棟は、重症心身障害児の中でも、比較的自立度の高い方々が入所していますので、日常生活の中でも色々な事があります。

入所者の中に熱狂的な巨人ファンがいて、野球中継はもちろん、巨人のスポーツニュースを必ず見えています。シーズン中は野球談議に花が咲きます。ですが、私は西武ライオンズのファンです。日本シリーズで巨人と西武が対戦する時などは、それぞれのチームを応援しながら敵同士になってしまうから、もう大変です。最近ではテレビ中継も少なくなり、寂しいかぎりです。ニュースやスポーツ新聞で結果を確認していますが、中継がある時は真剣にテレビ観戦をしています。

歌が好きなのもたくさんいて、演歌からポップスまでと幅が広いです。年末には色々な歌番組があり、録画して楽しんでいます。時には、テレビやCDから流れてくる歌に合わせて、入所者の人と一緒に歌ったりすることもあります。このように入所者の皆さんと楽しい日々を送りながら仕事をしています。

希望の家療育病院に就職して色々な事がありました、入所者の皆さんや諸先輩方に助けられ、今日があると思っています。これからも職員で力を合わせて、入所者の皆さんが快適に生活していけるよう、援助していきたいと思えます。本日は誠にありがとうございました。



体験談

社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会
桐生みやま園 勤務

吉田由貴子様

私が14年間勤めております「桐生みやま園」には、知的障害者の方と身体障害者の方の通所と入所の施設が4つあり、利用者の方の作業や生活の支援を行っております。

私は身体障害者の方の施設で現場の経験を5年、残りの9年は現在に至るまで、4施設の事務員として仕事をして参りました。

現場で勤め始めた頃は、人間的にも未熟で、利用者の方の支援をするという責任の重さに日々悩みながら、無我夢中で仕事に取り組んでいたように思います。その後、事務職へと移った訳ですが、経験したことのない仕事で、また一からの出発となり、悪戦苦闘の毎日でした。その様な日々を送っているうち、ただ自分の仕事をこなしているという毎日に、何の為に仕事をしているのだろうと自分を見失いそうになりました。

しかし、仕事に慣れて来るにつれ、ふと日常を振り返りながら気づいたことがありました。それは、これまで余裕が無ばかりに、自分の役割について気づいていないだけだったのだということです。

園に出勤しますと、先ず玄関で出迎えてくれる利用者の方がいます。事務所にいても毎日挨拶に立ち寄る人、話を聞いてもらいに来る人、ちょっとした相談をして来る人等、次々に利用者の方が訪れます。そんなたわいのないやりとりですが、直接支援している職員

とはまた違った関わりを持つことができるのです。色々な立場の人が様々な角度から見守り支えていく。そうすることで見えてくることがあり、気づくこともあるのです。

実際に事務の仕事をしていてもそうです。一見利用者の支援とかけ離れた事をしているように思えても、職員がより良い環境で仕事をしていけるようサポートしていくことで、結果として利用者の方へのサービス向上に繋がって行くとも言えるでしょう。自分の役割とは何であるかを日々自問自答し、仕事に取り組んで行けば、どうすることが利用者の方のためになるのか、何が必要なのか、という事が自ずと見えてくるのです。

障害者自立支援法が施行され、福祉を取り巻く環境が変わり、施設の役割も変わろうとしています。障害者の方々が地域で生活していくための支援、また就労するための支援を実現させていく。これからの施設は地域の方々や就労先の方々、その他関係各所と連携し、障害者の方が地域で暮らしていく為の様々なサポーターの中の一員として、役割を担っていくことになるでしょう。

事務所に来て全体を見渡せるからこそ見えてきた事があります。それは「みやま園」はたくさんの方々を支えられているということです。皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからの利用者の方の幸せを第一に考え、自分の、そして施設としての役割を果たしていきたいと思えます。これからもより一層のご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

本日は誠にありがとうございました。



体験談

社会福祉法人 広済会
つつじヶ丘学園はなぞの寮 勤務

森下眞由美様

私が勤務する広済会は、桐生市新里町にあります。知的に障害のある人たち約200名が入所して生活している施設です。

私は平成6年4月に障害者施設に事務員として就職し、平成19年4月からは障害児施設に移動になり現在に至っております。施設では支援員の人達が年間を通して色々な行事を計画して、楽しく暮らせるように工夫しています。利用者の方々も日中は色々な作業班に分かれ仕事をしています。私は事務員のため、利用者さんと接することは少ないですが、先日も家族旅行と一緒に参加して、楽しい一日を過ごして来ました。また、今度の日曜日は法人全体の行事でレクリエーション大会が予定されています。

初めて福祉施設で働いた時に、穏やかな時の流れを感じたことを覚えています。ここ数年で、福祉の制度が措置から契約へと変化して、障害者自立支援法という法のもと、事務内容も一変致しました。事務処理も細かく、そして複雑になってきました。利用者さんの暮らしは変わらないのに制度だけが変わってしまい、人と人との繋がりの中で大切なものが失われているようで、穏やかな時の流れが何処かへ行ってしまったよ

うに思えます。私の福祉の心の原点には、「私にできることは小さなこと、でも、それを感謝してできたらきっと大きなことだ」という、星野富弘さんの言葉があります。時々「感謝の気持ち」や「ありがとう」の気持ちを忘れてしまった時、この原点に戻って、また一歩前へ進むように心掛けています。

これからも色々なことに感動し、そして感謝の気持ちを忘れずに日々精進して行きたいと思っています。本日はありがとうございました。

(有)ひらつかバラ園

代表取締役 **平塚 英夫**
 みどり市大間々町浅原1358-1
 TEL 0277-72-0444

(株) ホシケン

代表取締役 **星野 幸男**
 太田市清原町5-10太田流通団地
 TEL 0276-37-8300

《次例会予告》

10月31日(金) 米山月間に因んで
 米山記念奨学会評議員 横山公一パストガバナー

メンバーは今!! No. 8

金子福松会員



西クラブの良心であり歴史の語部である金子さんはチャーターメンバーとして昭和46年11月12日に入会し、矢野会長年度の幹事、1990～1991年度会長、矢野ガバナー年度地区社会奉仕担当副幹事を務めた。金子さんらは西クラブ創立当時、前原勝樹PGの薫陶を受け、ロータリーの何たるかを身を以て体験したそうである。前原PGは「善意」を基本とした精神活動を推奨され、金子さんもこの基本に立ってロータリー活動をされて来た由。確かにロータリーは単なる慈善団体ではなくメンバーの善意に基づく精神修行の場であって、その結果としてサービスがあるのであろう。

金子さんは例会への出席が何よりも大切であると話され、ご自身の経験として、クラブ創立の翌年に欧州から米国に旅行する機会があり何処かでメイクをしなければ欠席になってしまうので、出発直前に太田RCでメイクをし、旅行の途中でニューヨークのアップマンハッタンRCでメイクをしたそうである。それ程、例会への出席はメンバーの第一の義務であると認識されていたのであろう。我々は金子さんのロータリアンとしての信条を肝に銘じなければならないと思う。ただ、前原PGは『例会は息抜きのために来て、童心に帰れ』とも話されていたそうである。例会出席を重荷に感じてはならないとお心遣いであろうか。

クラブ会報・雑誌委員長 片貝良一

友好クラブ・栃尾ロータリークラブを訪問する!!

10月14日15日(火・水)に、友好クラブのある栃尾の地を、締結以来初めて泊まりがけで訪問致しました。14日は西川バスター会長の料亭『恵比仁』さんでの夜間例会に出席し、翌日15日はゴルフ組(田崎会長、江原副会長、下井田会長/ミニ、天沼R財団委員長、阿左美米山奨学委員長、栗原幹事、塚本親睦委員の7名)と観光組(鳥嶋P会長、根本P会長、家住P会長、片貝クラブ会報・雑誌委員長の4名)に分かれてご接待頂き、栃尾RC皆様の手厚いおもてなしのもと、素晴らしい2日間を過ごすことが出来ました。

